

児童生徒の自主性 ・ 自立性を育む総合的な学習の時間の授業づくり
～体験的な活動を通して～

日立市立東小沢小学校

1 はじめに

本校は、日立市の南部、久慈川沿いの田園地帯に位置する全校児童26名の小規模校であり、総合的な学習の時間を「みのりタイム」と称して、各学年の児童の実態を考慮して学習を展開している。

「みのりタイム」のねらいは、次の2点である。

- ・ 自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・ 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

これらのねらいを受けて、本校では、地域の良さを生かした体験的な活動と言語活動の充実を図ることに力を入れてきた。ここで紹介する実践事例は、3・4年生の体験的な活動について紹介する。

2 実践事例1 「キッズミッション」

(1)ねらい

- ・ 地球の温暖化とわたしたちの暮らしとの関係について講話や体験学習から考えることができる。
- ・ ゴミと資源について考え、リサイクルや省エネについて考えることができる。
- ・ 身近な（ゴミ・水・電気）などの環境問題について、具体的な体験や実験などを通して考え、これから自分たちでできることを実践していこうとする態度を育てる。

(2)実施日時

平成30年10月24日（水） 午前10時35分～午後12時10分

(3)場所

東小沢小学校 3・4年教室

(4)講師

中村 恵美子先生 茨城県環境アドバイザー

(5)講演及び体験内容

「身近な環境問題について考えよう」

～ゴミ・水・電気について～

(6) 具体的な活動の様子



▲ 地球の温暖化とわたしたちのくらしとの関係について



▲ 家庭排水の実験

▲ 学習から分かったこと

(7) 学習のまとめ ワークシートから

キッズミッション学習カード
()年 ()番 名前 ()

☆ 講師の先生 () 中村 恵美子先生

1 お話の復習
「身近な環境問題について考えよう」
[ゴミ・水・電気について]

2 お話を聞いて分かったことをメモしよう。

・マイクロビュモンは、むかしいるかった。
・マイクロビュモンは、スミシの葉を食べる。
・むかしは、そんなに夏はあつくなかった。
・今は、0.8℃と夏はあつくなった。
・はやくおとけようといっている。
・タバコが土になるまで3ヶ月。
・りんごのへたが土になるまで3〜6ヶ月。
・ひんが土になるまで4,000年。
・しんが土になるまで3〜12ヶ月。
・マッチが土になるまで6ヶ月。
・ティッシュが土になるまで3ヶ月。
・やさいが土になるまで1,000年。
・アルミホイルが土になるまで10〜100年。
・プラスチックのライターが土になるまで100年。
・ペットボトル 100〜1,000年。

キッズミッション学習カード
(4)年 ()番 名前 ()

☆ 講師の先生 () 中村 恵美子先生

1 お話の復習
「身近な環境問題について考えよう」
[ゴミ・水・電気について]

2 お話を聞いて分かったことをメモしよう。

・リサイクルボックスのよう張り、すみれの葉を食べる。
・地球上の平均気温は、0.8℃あがっている。
・電気はつかいすぎない。
・ものを大切にすることは、大事なこと。
・早ね手洗きは、おつやくもつづかる。
・リサイクルで、きものを作る。
・石油からできているものは、リサイクルできる。
・生ごみなどの小さいものは、うめて、小さな虫が、食べる。
・電気は生活に、かかせないもの。電気がないで、水が、でない。
・水のとき、じょうろ、花、などの水やりをするとき、に、使う。(10リットルを、める)

お話を聞いて分かったことをメモしよう。

・チューイングガム 5年
・カーペット 1,000年
・ビニール 100〜1,000年
・なごみは、小さな生きものの食べ物になる。
・でんきや水やゴミのことが、よくわかりました。
・これから、でんきのことや水のことやゴミのことを、考えて、すごしていきたいです。
・あとゴミは、土、なんか、に、すて、い、け、ない、という、もの、よく、わかりました。

3 学習のふりかえりをしよう。

お話をしっかりと聞くことができたか?	(はい)	・ふつう	・いいえ
進んで考えることができたか?	(はい)	・ふつう	・いいえ
自分の考えをもつことができたか?	(はい)	・ふつう	・いいえ

今日の学習から学んだ感想を書こう

でんきや水やゴミは、とてもだいじだとい、う、こ、と、が、あ、り、ま、し、た、物、を、だ、い、じ、に、す、る、こ、と、も、た、い、せ、つ、た、と、わ、か、り、ま、し、た、は、い、め、て、し、た、の、て、き、い、た、こ、と、を、な、ん、だ、こ、と、を、こ、れ、か、ら、き、も、り、た、い、で、す。

お話を聞いて分かったことをメモしよう。

・電気は、毎日の生活に、ひつ、よ、う、な、物、。
・米などをといた水は、うすめて、草、木、な、ど、に、水、を、あ、げ、る、こ、と、が、で、き、る、。
・おふろのおゆは、せんた、き、の、水、に、使、う、こ、と、な、ど、が、で、き、る、。
・小さな生き物たち、は、す、み、か、と、食、べ、物、お、ん、ど、の、へ、ん、か、が、た、い、せ、つ、で、あ、る、。

3 学習のふりかえりをしよう。

お話をしっかりと聞くことができたか?	(はい)	・ふつう	・いいえ
進んで考えることができたか?	(はい)	・ふつう	・いいえ
自分の考えをもつことができたか?	(はい)	・ふつう	・いいえ

今日の学習から学んだ感想を書こう

今日、は、い、め、て、分、か、た、と、い、は、せ、き、や、か、ら、で、き、て、い、る、も、の、も、リ、サ、イ、ク、ル、で、き、る、こ、と、を、し、る、こ、と、で、す、こ、れ、か、ら、今日、学、ん、だ、リ、サ、イ、ク、ル、の、こ、と、を、い、か、い、で、リ、サ、イ、ク、ル、で、き、る、も、の、は、し、た、い、と、思、う、。

3 実践事例2「水質調査」

(1)ねらい

- ・ 河川の水質に関心をもって、調査を通して郷里の河川への理解を深め、川を大切に
する河川愛護の精神を育てることができる。

(2)実施日時

平成30年10月25日(木) 午前9時～午前11時30分

(3)場所

久慈川水系 里川

(4)講師

国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所

(5)体験内容

- ① 川の様子を調べる。
- ② 簡易水質調査
 - ・ パックテスト
 - ・ 透視度計を使った川の透視度の計測
- ③ 水生生物調査
- ④ 各班の発表とまとめ

(6)具体的な活動の様子

- ① 川の様子を調べる。



▲ 川幅や水の流れを目視する



▲ ピンポン球を使って流れの測定

② 簡易水質調査



▲ パックテスト



▲ 透視度計を使った川の透視度の計測

③ 水生生物調査



④ 各班の発表とまとめ

[illegible]

4 成果と課題

(1) 成果

児童にとって身近な環境問題について、外部の専門の方々の協力を得て学習できたことで、興味・関心が高まり、主体的・意欲的に活動ができた。

また、学習したことをこれからの生活に活かそうとして、社会科の学習と関連しながら、リサイクルや省エネに取り組んでいる児童も増えてきている。

(2) 課題

外部講師を招いて学習したことをその時だけにしないで、児童自身のこれからの生き方に活かして生活できるようにするために具体的な支援をしていく必要がある。